



「秋」といえば

校長 石岡秀久

まだまだ暑い日が続きますが、朝夕はめっきり涼しくなり、日の暮れる時刻も確実に短くなっています。日一日と季節は移ろってゆくんだなあと感じて

「秋」といえば・・・。「スポーツの秋」、「芸術の秋」、「読書の秋」、「食欲の秋」など、昔から表現されて参りました。三島硫黄島学園も「運動会」を終

え、次は「文化祭」に向けて児童生徒が一生懸命取り組むことと思います。コロナ禍における蔓延防止対策のもと実施された「運動会」でしたが、「文化祭」では地域の多くの方々に参加・参観していただけるのではないだろうか

と考えています。担当の児童生徒、職員から声がかかると感じます。そのときは、作品展示や舞台発表など是非ご協力をよろしくお願い致します。また、本年度より学校図書館を地域の方々へ開放しています。面倒な手続き等は必要ございません。秋の夜長に読書はいかがでしょう。新刊も入る予定

ので、どうぞ学校へいらしてください。「あき」といえば「八代亜紀」。私自身「舟歌」も心にしみる年齢になって参りました。「お酒はぬるめの爛が良い～♪」ではなく「お酒はいつも発泡酒～とにかくたくさん飲めりゃいい～♪」の私ですが、秋の風情の硫黄島を楽しみたいと思います。肝臓とメタボに気を付けながら。

「島をひとつに」～運動会大成功！～

「フレイフレー硫黄島！！」赤白団長のエール交換を合図に、今年も大運動会がスタートしました。地域種目がなかったのですが、たくさんの応援をいただき、大成功に終わることができました。子どもたちの元気を伝えることができようと思います。本当にありがとうございました。



「硫黄島が変えてくれた」～新聞投稿紹介～

9年生の佐藤朋さんの投稿が「若い目」に掲載されました。硫黄島に来て一年間の成長の様子を表現してくれました。



硫黄島が変えてくれた 三島硫黄島学園9年 佐藤 朋

過ぎ、卒業まで半年ほどとなり。1年前、硫黄島に来てすぐ参加した行事が「八朔太鼓踊り」でした。陸で次第に踊れるようになり、本番日は見事に踊り、国の重要無形民俗文化財にも指定されている。この経験を通過して、伝統行事です。矢張り太鼓を背負い、勇壮に舞う。踊りは動きが複雑で、最終的には全く踊ることができずとも悔しかったです。そして迎えたこの日の八朔太鼓踊り。これが最後の踊りになるかもしれなくとも、思い切り舞いませう。硫黄島の区長さんから「とてもうまくいった。去年とは表情が違う」と言っていたとき、これまではなかなか持つことができなかった自信を得ました。硫黄島での生活が自分を育ててくれたように感じています。(三島村)

朋さんだけでなく、秀平さん、楓さん、愛理さん、青空君、蒼葉さん、深優さん、そして、西航矢先生が投稿してくれたおかげで、南日本新聞社から「若い目賞」をいただくことになりました。10月12日(火)の新聞に掲載されます。

「学校へ行こう!」～お立ち寄り下さい～

「その9」仲間が拡大中!? 駐在所の畠中さんをまねて、理科室前で餌付けを始めました。結構近くまでよってきます。名前はおすが「ジャック」、メスが「クック」と呼んでいます。



「その10」あぼ～らに参加!! 西ゆかりさん、寛山先生、西希里子先生、牧野先生があぼ～らに参加させてもらっています。

「むずかしいねえ」なんて言いながら、どんどん上達しています。毅さんの教え方が上手なんです。



目指せ! 鹿児島県コンサート!

三島硫黄島学園の様子はHPで。右のQRコードもしくは「みしまっ子」で検索。

